秀明改

編　集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教から守ろう
fujiyahoko@excite.co.jp

リセット

秀明会ＯＢが作っている秀明信者のためのページもご覧下さい

「大」の文字が中心からずれているため、切り貼りで作られたのではないかとの噂がある黄島神殿の御神体

教祖言では

（聖教書P.358）

私の書いた文字を粗末にすると必ずお気付けがある

と言われていたのに・・・

神慈秀明会では、明主様が書かれた聖教書やお光りなどの文字には神霊が宿っているので、その取扱には細心の注意を払うように信者に教えてきた。

明主様が書かれた教祖言にも、**「私の書いた文字を粗末にすると必ずお気付けがあるから、注意してもらいたい。これは”おひかり”に限らず、ずべての文字がそうである。何となれば一字一字に神霊が宿られているからである。そのくらいの偉力がなければ万人を救うことができるはずはないからで、つまり私の文字は生きているので、そのつもりで扱うべきである」**と書かれている。

このように神霊が宿っているとされる文字を、明主様のお許しもないのに勝手に切り貼りしてご神体を作ったり、お光りを作ったりして良い筈はないし、そのような行為は明主様の怒りに触れる行為だ。

しかし、右下の二種類のお光りをよく見ていただくと分かるが、ここに使われている光という文字は全く同じ文字であり、どちらかは切り貼りで作られている（両方かも？）。

信者に対しては異常なまでの厳しさでその取り扱いに注意をさせておきながら、それを「作成」している秀明会自身は明主様に対して屈辱的と言えるほどメチャメチャに明主様の書かれた文字を切り貼りしたり、拡大縮小している。

秀明会を退会した元信者がお光りを破り捨てたり、燃やしたり、ゴミ収集日にゴミとして捨ててしまったりしても何のお気付けもないのは、こうした秀明会が「作った」文字には、最初から明主様の力が宿っていないからなのかも知れない。

では、お光りに髪の毛が入っただけで「お詫び」の献金をさせていたのは何だったのか？

秀明会では　明主様の書かれた文字を切ったり貼ったりしていますが？

（信じたくないでしょうが）

あの、おひかりの文字も切り貼りでした

この二種類のお光り、どう見ても「光」の文字は同じです。秀明会では、明主様の書かれた文字を切り貼りしてお光りを作っていたのです。